

## 競技・審判上の確認

競技副委員長 小池 公章  
審判委員長 牧村 宣幸

### 1 競技規則について

- (1) 2020年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。

なお、大会使用球は、男子：ミカサ製カラーボール「V300W」

女子：モルテン製カラーボール「V5M5000」とする。

### 2 チーム構成について

- (1) チームは監督・コーチ・マネージャー各1名・選手18名以内とし、試合毎に14名以内の選手を構成メンバー表にエントリーする。なお、監督・コーチがともに外部指導者の場合は引率責任者（校長が認める当該校の教員）を届け出なければならない。
- (2) 参加申込書に記載された監督・コーチ・マネージャー・選手の変更用紙は、受付時に提出すること。
- (3) 各試合のエントリーは、第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに指定の構成メンバー表に記入し、本部席まで提出する。試合が連続する場合は、試合終了後すみやかに提出する。
- (4) 構成メンバーとは試合毎にエントリーされたメンバーである。

### 3 ベンチの着席について

- (1) 監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは当該高等学校の教職員、マネージャーは当該高等学校の教職員もしくは生徒とする。ただし、監督・コーチがともに外部指導者の場合は、当該高等学校長および高体連バレーボール専門部長の承認を得なければならない。なお、引率責任者はベンチに入ることはできない。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれ左胸にマークをつけなければならない。
- (3) 監督はスコアラズテーブルに最も近い位置でチームベンチに座る。ただし、ラリー中であっても試合を妨げない、または遅延させない限り、アタックラインの延長線からウォームアップエリアまでの自チームベンチ前のフリーゾーン内で立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。
- (4) ベンチスタッフは、ジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用すること。Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されない。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

### 4 コートワイピングについて

- (1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行う。ただし、構成メンバー以外の登録されたメンバーから最大2名までクイック・モップとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モップは、モッピングが目的なので応援等はできない。
- (2) タイムアウト中、およびセット間については、クイック・モップが行う。クイック・モップがいない場合は、競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

## 5 リベロについて

- (1) リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができない。
- (2) リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断でベストを着用することがある。
- (3) 本大会は、参加チームもスコアラー、アシスタント・スコアラーを担当するので、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。
- (4) 正規の競技者とリベロ競技者について
  - ①構成メンバーが12名以内の場合、リベロ競技者の人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。
  - ②構成メンバーが13名及び14名の場合、リベロ競技者の人数は2名でなければならない。

## 6 競技者交代について

- (1) 競技者交代は、競技者交代ゾーン（サブスティチューション・ゾーン）に入ることで交代要求になる。複数の競技者交代も同様となる。

## 7 試合前の練習について

- (1) 公式練習前、ウォームアップでネット・ボールを使うことができる。ただし、近接コートにボールが入らないようボールキーパーを配置する。
- (2) 公式練習には構成メンバー以外の登録メンバーも、ボールキーパー（ユニフォーム以外のものを着用する）として練習に参加することができる。  
※ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみが許される。
- (3) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用して練習しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前でウォームアップを行う。

## 8 試合開始時間について

- (1) 第1試合の開始時間は、予選グループ戦16日12:00、17日10:30、決勝トーナメント戦18日10:00にプロトコールを開始する。
- (2) 第2試合以降は追い込み方式とするが、感染予防の観点から、選手の退場後消毒を行い、その後に次の試合のアップを開始する。いずれかのチームがその日の初試合となる場合、選手入場後30分後に試合を開始する。（11分前にプロトコールを開始する。）
- (3) 試合が連続する場合は、前の試合の消毒終了30分後に試合を開始する。（11分前にプロトコールを開始する。）

## 9 その他

- (1) 補助役員は、参加チームにおいて、スコアラー1名、アシスタント・スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名の計9名で行う。
- (2) 開場時間は16日11:00、17日9:30、18日9:00とする。
- (3) コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手に関して当面は一礼などに代える。